

第48回 坪田 祐基さん (愛知学泉大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第48回目は、坪田 祐基さんにご執筆いただきました。

完全主義と不思議さへの熱

「こんなんじゃダメだ。どうしよう」

学部時代の友人が、完成させた課題を前によく口にしていた言葉です。傍から見ると、課題は良くできています。しかし、友人はとても深刻に悩んでおり、謙遜して言うようには見えません。同じものを目にしても、同じようには感じない。とても不思議でした。私が「個人差」に興味を持つきっかけとなった出来事です。

これ以来、私は「完全主義」について研究をしています。特に、大学院に入ってから、完全主義者の選択的注意バイアスについて、認知行動実験パラダイムを用いた実験研究を行ってきました。一方で、心理計量学を専門とする先生に学部時代から指導を受けており、尺度の取り扱いや分析の方法論などについて、関心が高いです。

心理学は、抽象的な構成概念や統計手法に彩られた学問です。一方で、個人差に興味を持ったときの「熱」とも呼ぶべき感情は忘れないように意識しています。人と人が異なる視点を持つことの不思議さ、現実で生きる人々が持つ感情や思考の複雑さと豊かさへの感動。専門的な知識やデータとともに、「現実への瑞々しい感性」を大事にしていきたいと考えています。

坪田 祐基 (Yuki TSUBOTA) さん

【ご所属】 愛知学泉大学

【ご連絡先】 tsubota.psychology@gmail.com

【ホームページ】 <https://researchmap.jp/ytsubota/>

【その他】 世界一かわいい柴犬を飼っています。また、趣味で山に登っています。とっつきづらく見えるかもしれませんが、お気軽にお声かけください。